2012年 1 月29日 実施

# 平成23年度(第46回)

# 情報処理検定試験 〈ビジネス情報部門〉

第2級 筆記試験問題

# 

- 1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
- 2. 試験問題は4ページあります。
- 3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
- 4. 電卓などの計算用具は使用できません。
- 5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
- 6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
- 7. 制限時間は30分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

#### 【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

- 1. 磁気ディスク装置において、磁気ヘッドを読み書きする位置に移動させる部品。
- 2. ディスプレイ装置やディジタルカメラなどで画像を表現する際に使用される光の三原色。
- 3. プログラムやデータを識別するためにつける名称。
- 4. 文字や音声、画像などのデータを、2種類の電気信号の0と1で表し、データの送受信を行う通信回線。
- 5. ソフトウェアの機能の追加や不具合を修正するために、最新の状態にすること。

#### - 解答群 —

**ア**. シリンダ

**イ**. バックアップ

**ウ**. ディジタル回線

**エ**. アクセスアーム

オ. アナログ回線

カ. RGB

**+**. CMYK

**ク**. ワイルドカード

**ケ**. アップデート

コ. ファイル名

#### 【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

< A 群 > 1. 暗号化

2. グループウェア

3. CATVモデム

4. CSV

5. タッチパネル

#### <B群>

- ア.企業などで、LANやインターネットを活用して情報共有やコミュニケーションを効率的に行うためのソフト
- **イ**. 第三者に意味がわからないように、何らかの規則にもとづいて変換されたデータを、元のデータに戻すこと。
- ウ. 学校や企業など特定の場所において、複数のコンピュータで同一のソフトウェアを使用するために、一括購入 する際の契約方法。
- **エ**. 光ファイバ加入者通信網において、コンピュータなどの端末機器をネットワークに接続するために、電気信号 と光信号との変換機能を備えた装置。
- **オ**. ケーブルテレビ放送の回線を使用し、コンピュータをインターネットに接続するための装置。
- **カ**. 専用のソフトウェアを利用することで、コンピュータの機種や使用環境に依存せずに閲覧できる電子文書の ファイル形式。
- **キ**. データを何らかの規則にもとづいて変換し、第三者に意味がわからないようにすること。
- **ク**. ディスプレイ上に表示された絵や写真などを,指先などで直接触れることによって操作する入力装置。
- **ケ**. 写真や絵, 印刷物などを光学的に読み取り, ディジタルデータとして入力する装置。
- コ. データをコンマで区切って並べたファイル形式。

## 【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

1. 2進数の1101と1011の和を表す10進数。

**7**. 20

1 22

**ウ** 24

2. データの書き換えが可能で、電源を切っても記憶内容が消えない不揮発性の特性を持つ半導体メモリ。

**ア**. フラッシュメモリ

1. RAM

ウ. ROM

3. データの内容を保ったまま、データ容量を小さく変換すること。

ア. 解凍

イ. 圧縮

ウ. 複写

4. 日本国内における工業製品などの標準規格。

7. ANSI

1. ISO

ウ. JIS

5. 知的財産権のうち,特許庁が所管する特許権,実用新案権,意匠権及び商標権の4つの総称。

ア. 産業財産権

**イ**. 肖像権

ウ. 著作権

# 【4】 次の各問いに答えなさい。

問1.次の表は、ある会社の社員一覧表である。C列の「課コード」は、A列の「社員コード」の下2けたで表示する。C4に設定する次の式の空欄にあてはまる関数として、最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

= (A4, 100)

ア. RIGHT

1. FIXED

ウ. MOD

	A	В	С	D
1		•	•	
2	社員一覧表			
3	社員コード	氏名	課コード	課名
4	19912010	高木〇〇	10	経理課
5	19980011	遠藤○○	11	人事課
₹	}	}	}	}
49	20112011	土屋〇〇	11	人事課
50	20110112	青野○○	12	総務課

問 2. 次の表は、ある目的地までの所要時間を経路ごとに一覧表にしたものである。 G 列の「備考」は、「所要時間」の最も短い場合は最短、2番目に短い場合は2番目を表示する。 G 5 に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式を $G6\sim G9$ にコピーするものとする。

	A	В	С	D	E	F	G
1							
2	所要時間-	覧表					
3	経路	出	発	到	着	所要時間	備考
4	不上止台	時	分	時	分	別女时间	加与
5	ルート1	10	22	11	15	0:53:00	2番目
6	ルート2	10	24	11	20	0:56:00	
7	ルート3	10	25	11	35	1:10:00	
8	ルート4	10	27	11	25	0:58:00	
9	ルート 5	10	32	11	23	0:51:00	最短

- ア. =IF(RANK(F5, \$F\$5:\$F\$9, 0)=1, "最短", IF(RANK(F5, \$F\$5:\$F\$9, 0)=2, "2番目", ""))
- イ. =IF(F5=SMALL(\$F\$5:\$F\$9,1),"最短",IF(F5=SMALL(\$F\$5:\$F\$9,2),"2番目",""))
- ウ. =IF(F5=LARGE(\$F\$5:\$F\$9,1),"最短",IF(F5=LARGE(\$F\$5:\$F\$9,2),"2番目",""))
- 問3.次の表は、2000年以降に登録された日本国内の世界遺産の一覧表である。分類別の登録数を求めるために、C14に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をD14にコピーするものとする。

7. =DCOUNTA(\$A\$3:\$D\$9, 4, C12:C13)

**1.** =DCOUNTA(\$A\$4:\$D\$9, 4, C12:D13)

ウ. =DCOUNT(\$A\$3:\$D\$9, 4, C12:C13)

	A	l R		l D			
1							
2	2000 年以降に登録された E	∃本国内の廿	世界遺産				
3	名称		登録年	分類			
4	琉球王国のグスク及び関連	遺跡群	2000	文化			
5	紀伊山地の霊場と参詣道		2004	文化			
6	知床		2005	自然			
7	石見銀山遺跡とその文化的	J景観	2007	文化			
8	小笠原諸島		2011	自然			
9	平泉の文化遺産		2011	文化			
10							
11	分類別登録数						
10			1.7 NEE	77 李二			

 分類別登録数

 分類
 分類

 文化
 自然

 登録数
 4
 2

問4.次の表は、各月の主な誕生石の一覧表である。次の(1)、(2)に答えなさい。

	A	В	С	D	E	F	G
1							
2	各月の主	な誕生石					
3	月	4	5	)	6 7	8	9
4	誕生石	ダイヤモンド	エメラルド	真珠	ルビー	ペリドット	サファイア
5	月	10	11	. 1	2 1	2	3
6	誕生石	オパール	トパーズ	トルコ石	ガーネット	アメシスト	アクアマリン
7							
8	1	月の誕生石は	ガーネット	<b>]です。</b>			

注 本日は1月29日である。

(1) A 8 は、本日の日付から月を取り出して表示させたい。 A 8 に設定する式の空欄にあてはまる関数として、最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

= (TODAY())

ア. DATE イ. MONTH ウ. NOW

- (2) A 8 に求めた「月」をもとに、C 8 に該当する月の「誕生石」を表示させたい。C 8 に設定する式として、適切なものを選び、記号で答えなさい。
  - 7. =IF(OR(A8>=4, A8<=9), HLOOKUP(A8, B3:G4, 2, FALSE), HLOOKUP(A8, B5:G6, 2, FALSE))
  - 1. =IF(AND(A8<=4, A8>=9), HLOOKUP(A8, B5:G6, 2, FALSE), HLOOKUP(A8, B3:G4, 2, FALSE))
  - ウ. =IF(AND(A8>=4, A8<=9), HLOOKUP(A8, B3:G4, 2, FALSE), HLOOKUP(A8, B5:G6, 2, FALSE))

J

【5】 次の表は、ある自然体験施設におけるある月の体験講座の応募状況一覧表である。処理条件にしたがって、各問いの答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

	A	В	С	D	Е	F	G	Н	I	
1										
2		体験講座応募状況一覧	表							
3										
4	講座コード	体験講座名	分野名	定員	応募者数	応募倍率	先月倍率	伸び率	評価	
5	K01-080	ウッドクラフト	工作	80	100	1. 25	1.05	0.20	Α	
6	K02-080	木の実工作	工作	80	83	1.04	1.00	0.04	В	
7	K03-080	ストーンアート	工作	80	75	0.94	0.89	0.05	В	
8	S01-120	森林ウォーキング	自然観察	120	121	1.01	0.88	0.13	В	
9	S02-120	天体観測	自然観察	120	141	1.18	1.10	0.08	В	
10	S03-120	野鳥観察	自然観察	120	87	0.73	0.83	-0.10	С	
11	T01-040	うどん打ち	調理体験	40	60	1. 50	1. 25	0.25	Α	Γ
12	T02-040	おやきづくり	調理体験	40	42	1.05	0.97	0.08	В	
13	T03-040	カレーライスづくり	調理体験	40	40	1.00	1.00	0.00	В	
14										
15	分野別応募者	<b>音数集計表</b>				評価別講座数集計	卡表			
16	分野コード	分野名	応募者数計	割合		伸び率	評価	講座数		
17	K	工作 258 34.4% 0.20以上		0.20以上	A	2				
18	S	自然観察	349	46.6%		0.00~0.20 未満	В	6		
19	T	調理体験	142	19.0%		0.00 未満	С	1		

#### 60 TM ← 14

- 2. D列の「定員」は、A列の「講座コード」の右端から3文字を抽出し、数値に変換して求める。
- 3. F列の「応募倍率」は**,「応募者数 ÷ 定員」**の式で求める。ただし,小数第 2 位未満を四捨五入し,小数第 2 位まで 表示する。
- 4. H列の「伸び率」は**、「応募倍率 先月倍率**」の式で求める。
- 5. I列の「評価」は、H列の「伸び率」が 0.20 以上の場合は A , 0.00 以上 0.20 未満の場合は B , 0.00 未満の場合は C を表示する。
- 6. J列の「備考」は,F列の「応募倍率」が 1.00 以上で,かつ H列の「伸び率」が 0.10 以上の場合は  $\bigcirc$  を表示し,それ 以外の場合は何も表示しない。
- 7. 分野別応募者数集計表の「応募者数計」は、分野名ごとに「応募者数」の合計を求める。
- 8. 分野別応募者数集計表の「割合」は、「応募者数計」の合計に対する割合を求める。ただし、小数第3位未満を四捨五入し、 %表示で小数第1位まで表示する。
- 9. 評価別講座数集計表の「講座数」は、評価ごとに件数を求める。
  - 問1. C5に設定する式を答えなさい。
  - 問2. D5に設定する式を答えなさい。
  - 問3. J列に表示される の数を答えなさい。
  - 問4. D17に設定する式を答えなさい。
  - 問5. H17に設定する式を答えなさい。

-	解答群

- 7. =VLOOKUP(LEFT(A5, 1), \$A\$17:\$B\$19, 2, FALSE)
- ウ. =HLOOKUP(LEFT(A5, 1), \$A\$17:\$B\$19, 2, FALSE)
- オ. =COUNTIF(\$H\$5:\$H\$13,G17)
- **+**. 2
- ケ. 7
- サ. =ROUND(C17/SUM(\$C\$17:\$C\$19),3)
- ス. =FIXED(RIGHT(A5, 3), 0, 0)

**1.** =VLOOKUP(LEFT(A4, 1), \$A\$16:\$B\$19, 2, FALSE)

注 ※印は、値の表記を省略している。

- **I**. =COUNTIF(\$G\$5:\$G\$13, G17)
- カ. =COUNTIF(\$I\$5:\$I\$13,G17)
- **ク**. 3
- □. =ROUND(C17/SUM(\$C\$17:\$C\$19), 1)
- **୬.** =ROUND(C17/SUM(\$D\$5:\$D\$13), 3)
- t. =VALUE(RIGHT(A5, 3))

【6】 ある市民会館では備品の貸し出しをしており、備品の予約状況をリレーショナル型データベースで管理している。各問いの答 えを解答群から選び、記号で答えなさい。

備品表

備品コード	備品名	基本料金
B1	展示パネル	300
B2	パーティーション	300
В3	テーブル	200
B4	イス	100
В5	照明機器一式	10000
В6	音響機器一式	10000

時間区分表

· 31-31-35 24		
区分コード	時間区分	料金換算率
K1	全日	1.0
K2	夜間	0.8
K3	午後	0.5
K4	午前	0.4

施設表

施設コード	施設名
S1	ホール
S2	展示室
S3	多目的室

貸出予約表

予約番号	利用日	備品コード	区分コード	施設コード	数量
1	20120201	B2	K4	S2	4
2	20120201	B2	K4	S3	3
3	20120202	B1	К3	S2	6
4	20120202	B1	K2	S3	4
5	20120202	B4	К3	S2	10
6	20120203	B1	K1	S3	4
7	20120203	B2	K1	S2	3
8	20120203	B3	K1	S2	2
9	20120204	В3	К3	S1	2
10	20120204	B3	K1	S2	12
11	20120204	B4	К3	S1	6
12	20120204	B4	K4	S2	4
13	20120204	B5	К3	S1	1
14	20120204	B6	К3	S1	1
15	20120205	B1	К3	S3	6
16	20120205	B2	K2	S2	2
17	20120205	B4	K4	S1	6
18	20120205	B3	K4	S1	2
19	20120205	B5	K1	S1	1
20	20120205	B6	K1	S1	1

(注) 利用日のデータ型は数値型である。 例:20120201は2012年2月1日を表す。

- 問1.次の(1)~(3)の SELECT 文によって抽出されるデータを解答群から選び、記号で答えなさい。
  - (1) SELECT 基本料金 FROM 備品表 WHERE 備品コード = 'B3'
  - (2) SELECT 施設コード FROM 貸出予約表 WHERE 備品コード = 'B4' AND 利用日 = 20120204
  - 利用日, 時間区分 (3) SELECT

FROM 時間区分表,貸出予約表

時間区分表. 区分コード = 貸出予約表. 区分コード WHERE

備品コード = 'B1' AND 施設コード = 'S3'

— 解答群 -

7. 100 1. 20	) ウ. 300 エ. S1	オ. S1 カ. S1 S2 S1
+.       20120202 夜間         20120203 全日         20120205 午後	ク.       20120202 午後         20120202 夜間         20120203 全日         20120205 午後	ケ.20120201午前20120202夜間20120203全日20120205午後

問2.上の表から,次のような新しい表(仮想表)を作成するためのSELECT文の空欄(1),(2)にあてはまる適切なものを解答群か ら選び, 記号で答えなさい。

予約番号	備品名	基本料金	料金換算率	数量
17	イス	100	0.4	6
18	テーブル	200	0.4	2
19	照明機器一式	10000	1.0	1
20	音響機器一式	10000	1.0	1

SELECT 予約番号, 備品名, 基本料金, 料金換算率, 数量

(1) FROM

WHERE 備品表. 備品コード = 貸出予約表. 備品コード

AND 時間区分表.区分コード = 貸出予約表.区分コード

AND 利用日 = 20120205

(2) AND

#### - 解答群

- 7. 時間区分表,施設表,貸出予約表
- **イ**. 備品表,施設表,貸出予約表 ウ. 備品表,時間区分表,貸出予約表

エ. 数量 <= 6

- オ. 施設コード = 'S1'
- カ. 備品コード = 'B6'

# 主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

# 平成23年度(第46回)情報処理検定試験ビジネス情報部門 第2級 筆記

# 解 答 用 紙

[1]	1	2	3	4	5

[2]	1	2	3	4	5

[3]	1	2	3	4	5

[4]	問 1	問 2	問 3 ―	問 4		
	rr] 1	I   I   Z		(1)	(2)	

[5]	問1	問 2	問 3	問 4	問 5

[6]		問1	問	2	
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)

試	験	場	校	名	受	験	番	号	

得	点	合	計	

# 主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

# 平成23年度(第46回)情報処理検定試験ビジネス情報部門 第2級 筆記

# 審査基準

[1]	1	2	3	4	5	
	工	カ	コ	ウ	ケ	各 2 点計10点

[2]	1	2	3	4	5
	丰	ア	才	コ	ク

各3点 計15点

[3]	1	2	3	4	5	
	ウ	ア	1	ウ	ア	  各3  計1

各3点計15点

[4]	問 1	問 2	日日 9	問 4		
	 	II]	問 3	(1)	(2)	
	Ď	1	ア	1	ウ	1

各 4 点 計20点

[5]	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	
	ア	セ	<sup>2</sup>	サ	カ	各 4 計20

各 4 点 計20点

[6]		問1	問 2			
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	
	7	才	丰	ウ	才	

各 4 点 計20点

試	験	場	校	名	受	験	番	号	

得点合計 100

2012年 1 月29日 実施

# 平成23年度(第46回) 情報処理検定試験 〈ビジネス情報部門〉 第2級 実技試験問題

# 

- 1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
- 2. 監督者の指示にしたがって、 $\underline{A1}$ のセルに**試験場校名および受験番号**を入力してください。
- 3. 試験問題は1ページあります。
- 4. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
- 5. 制限時間は20分です(印刷時間は含みません)。
- 6. 印刷は監督者の指示にしたがって、1ページで印刷してください。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

(平成24年1月29日実施)

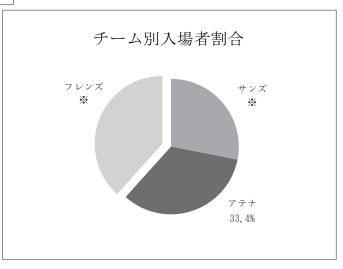
 $2012.01\ 2-\overline{7}$ 

次の表は、あるサッカーチームのホームゲームにおける入場者数動向表である。処理条件にしたがって、表とグラフを 作成しなさい。なお、A1のセルに試験場校名および受験番号が入力されているか確認しなさい。

	A	В	С	D	Е	F	G	Н	I
1									
2		ホームゲー	ム入場者数	動向表					
3							単位:百/	Λ.	
4	試合コード	対戦相手	A席	B席	自由席	今年計	前年計	前年比	備考
5	H1S	サンズ	13	22	35	70	73	95. 9%	*
6	H2S	*	28	48	67	*	115	*	*
7	H3S	*	16	24	42	*	99	*	*
8	H4A	*	19	25	41	*	78	*	*
9	H5A	*	26	50	74	*	128	*	*
10	H6A	*	22	30	62	*	108	*	*
11	H7F	*	23	40	75	*	90	*	*
12	H8F	*	27	47	75	*	110	*	*
13	H9F	*	20	31	62	*	113	*	*
14		合計	*	*	*	*	*		
15							_		
16	チーム別入場者								
17	チームコード	対戦相手	今年	前年	順位				
1.8	S	サンズ	295	**	**				

**※** 

	<u>!</u>	今年の	入場者数	(ベスト	3
	160 7		_		
五	140 - 120 - 100 -	74	75	67	
百人	80 - 60 - 40 -	*	*	*	■ 自由席 ■ B席 ■ A席
	20 -	*	*	*	
	UT	H5A	H8F	H2S	
			試合コード		



# 処理条件

- 1. 表の形式および体裁は、上の表を参考にして設定する。
  - 設定する書式:罫線,列幅,数値につける3けたごとのコンマ
- 2. 表の※印の部分は、式や関数などを利用して求める。
- 3. B列の「対戦相手」は、A列の「試合コード」の右端から1文字を抽出し、チーム別入場者数一覧表を参照して表示する。
- 4. F列の「今年計」は、各座席の入場者の合計を求める。
- 5. H列の「前年比」は、次の計算式で求める。ただし、%表示で小数第1位まで表示する。

#### 「今年計 ÷ 前年計」

- 6. I列の「備考」は、F列の「今年計」がG列の「前年計」を超え、かつC列の「A席」とD列の「B席」の合計が E列の「自由席」を超えた場合は ○ を表示し、それ以外の場合は何も表示しない。
- 7.14行目の「合計」は、各列の合計を求める。
- 8. 表の作成後、5~13行目のデータを、F列の「今年計」を基準として、降順に並べ替える。
- 9. チーム別入場者数一覧表の「今年」,「前年」は,対戦相手ごとに入場者の合計を求める。
- 10. チーム別入場者数一覧表の「順位」は、С列の「今年」を基準として、降順に順位をつける。
- 11. 積み上げ縦棒グラフは、処理条件8の並べ替えをしたあと、ホームゲーム入場者数動向表より今年の入場者数ベスト3をグラフ化する範囲として指定する。
  - (1) グラフの※印の部分は、表に入力された数値を表示する。
  - (2) グラフの数値軸(縦軸) 目盛は、最小値(0)、最大値(160) および間隔(20) を設定する。
  - (3) 軸ラベルの方向を設定する。
- 12. 円グラフは、チーム別入場者数一覧表より今年の入場者をグラフ化する範囲として指定し、上記のように作成する。 なお、円グラフの※印の部分は、割合を%表示で小数第1位まで表示する。

# 主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

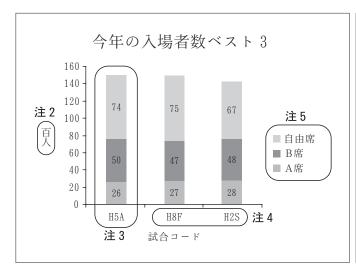
# 平成23年度(第46回)情報処理検定試験ビジネス情報部門 第2級 実技

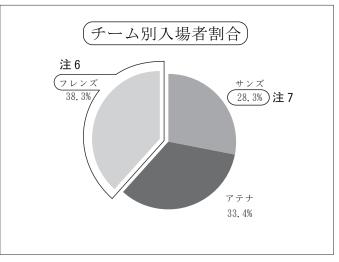
番
---

	A	В	С	D	Е	F	G	Н	I	
1										
2	(	ホームゲー	ム入場者数重	動向表)						
3							単位:百/			_
4	試合コード	対戦相手	( A席 )		自由席	今年計	前年計	前年比	備考	
5	H5A	アテナ	26	50	74	150	128	(117. 2%)		
6	H8F	フレンズ	27	(47)	75	149	110	135.5%		
7	H2S (	サンズ)	28	48	67	143	115	124.3%		
8	H7F	フレンズ	23	40	75	138	90	153.3%		
9	H6A	アテナ	22	30	62	114	(108)	105.6%		
10	H9F	フレンズ	20	31	(62)	113	113	100.0%		
11	H4A	アテナ	19	25	41	85	78	109.0%		注 1
12	H3S	サンズ	16	24	42	82	99	82.8%		
13	H1S	サンズ	13	22	35	70	73	95. 9%		
14		合計	194	317	533	(1,044]	914			
15										
16	チーム別入場者									
17	チームコード	対戦相手	今年	前年	順位					
18	$\bigcirc$	サンズ	295	287	3					
19	A	アテナ	349	(314)	2					
20	F	フレンズ	400	313	(1)	)				

#### 配点(表の作成)

② 罫線 ………… 5点(2つの表のすべての罫線が正確にできていること)





## - 配点 (グラフの作成) -

の箇所……… 5 点× 7 箇所=35点

積み上げ縦棒グラフについて

- 注2 項目軸(縦軸)は、方向、文字が正しく設定されていること。
- 注3 H5A が積み上げ縦棒グラフになっていれば、正解とする。
- 注4 試合コードの並び順があっていること。
- **注5** 凡例は、位置(グラフの右側)および文字が正しく設定されていること。

## 円グラフについて

- 注6 フレンズのみが切り離されていること。
- 注7 パーセンテージ (28.3%) が正しく表示されていること。
- 体裁は、アプリケーションによって異なるので、採点対象とはしない。
- 2つのグラフの配置(上下左右)は、採点対象とはしない。

## ※ 審査にあたっては、「審査上の注意事項」をあわせて参照してください。